

対象国の条件 : わが国の協力による橋梁関連事業を実施済み、実施中、または実施予定の国

研修コース番号 : 201984555-J002

案件番号 : 201984555

主分野課題 : 運輸交通/全国交通

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

本研修では、本邦研修並びにモニタリング活動を実施する。本邦研修として、日本で実施されている橋梁の維持管理体制を理解し、橋梁点検・診断にかかる実践的な研修により、橋梁管理者の橋梁維持管理能力の向上を図る。モニタリング活動として、研修後のモニタリングとフィードバック体制を形成することで、研修の質の向上を図る。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 橋梁の維持管理について、発展途上国の中央政府が実施する事業を対象としたアクションプランが作成される。</p> <p>【成果】 1. 途上国の橋梁技術者が橋梁維持管理の要点（橋梁維持管理サイクルの概念）を説明し、橋梁維持管理計画を策定できる。 2. 途上国の橋梁技術者が各種橋梁（コンクリート橋、鋼橋）の点検・評価の要点を説明できる。 3. 途上国の橋梁技術者が各種橋梁の補修・補強の要点を説明できる。 4. アクションプランを作成し、所属組織へ説明・共有できるようになる。</p>	<p>【対象組織】 橋梁の維持管理を担う政府又は政府関係機関</p> <p>【対象人材】 現在、橋梁関係業務（設計、施工/施工監理、維持管理、補修）に従事している技師。大学（土木工学）卒業又は同等の学力を有する者で、5年から15年の職務経験を有する者（特に橋梁関連業務経験3年以上が望ましい）</p>

内 容	
<p>【事前活動】 自国の橋梁維持管理の現状及び所属組織についてカントリーレポート作成。受入が決まった研修員はカントリーレポートを加筆修正し、カントリーレポートNo2を作成。</p>	<p>本邦研修期間 2020/2～2020/3</p>
<p>【本邦研修】 以下の内容の講義、実習、視察、討論を行う。 1. 日本の橋梁維持管理概論 2. 鋼橋の維持管理 3. コンクリート橋の維持管理 4. 橋面舗装の維持管理・床板防水システム 5. 橋梁付属物の維持管理 6. 橋梁点検・評価 7. 橋梁補修・補強 8. 橋梁マネジメントシステム 9. 討論・アクションプラン作成</p> <p>【事後活動】 帰国後に所属部署において、再度アクションプランを検討し、橋梁の維持管理の改善のための取り組みが実施される。 帰国後3カ月後には、アクションプラン実施および水平展開の状況等に関するレビューレポートを提出。レビューレポートを提出した国のうち2カ国を選択し、現地モニタリング調査、ワークショップを実施される。</p>	<p>担当課題部 社会基盤・平和構築部</p> <p>所管国内機関 JICA九州</p>
<p>関係省庁 国土交通省</p>	
<p>実施年度 2018～2020</p>	

主要協力機関 国立大学法人 長崎大学、株式会社 国際開発センター IDCJ

特記事項及びホームページ